

日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成 26 年 5 月 18 日（日）12 時からコクヨホールにて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）と主な決定事項を報告する。

日本透析医会通常総会資料
平成 26 年度通常総会報告

第1号議案

平成25年度事業報告書

第1会議

総会

1. 平成25年度通常総会

- 平成25年5月19日 第1号議案 平成24年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件
第2号議案 役員任期満了に伴う新役員承認を求める件

理事会

1. 平成25年5月19日

(1) 通常総会付議事項について

- 第1号議案 平成24年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件
第2号議案 役員任期満了に伴う新役員承認を求める件

2. 平成25年5月19日

(1) 業務執行理事の選任について

3. 平成26年3月14日

(1) 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について

常任理事会

1. 平成25年4月26日

- 協議事項 (1) 平成25年度通常理事会及び通常総会資料について
(2) 日本透析医会各委員会(部会)長の委嘱について
(3) 適正透析普及部会(支部長会)等の開催について

報告事項

- (1) 平成24年度決算
(2) 透析医療に関するグランドデザイン作成に向けた検討会
(3) 医療機器の取違え事故に対する対応を検討する会(仮称)

2. 平成25年5月18日

- 協議事項 (1) 平成25年度通常理事会及び通常総会について
(2) 平成25,26年度日本透析医会委員会(部会)委員委嘱について
(3) 「透析医療機関経営・施設実態調査2013」調査について
(4) 各支部開催の研修会、講演会経費の補助について(研修委員会より)
(5) 災害用衛星携帯電話(イリジウム)等について

報告事項

- (1) 中医協入院分科会資料

3. 平成 25 年 6 月 28 日

協議事項

- (1) 今後の研修セミナー開催予定について
- (2) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）

報告事項

- (1) 公益法人の事業報告（内閣総理大臣あて）
- (2) 平成 25 年度レセプト分析調査協力依頼
- (3) 透析医療機関経営・施設実態調査 2013
- (4) 委員会報告
 研修委員会
 広報委員会
- (5) 医療機器の取違え事故に対する対応を検討する会（仮称）

4. 平成 25 年 7 月 26 日

協議事項

- (1) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）
- (2) 被災地先遣隊・支援コーディネーター登録と災害時情報ネットワークメンバーリスト参加のお願い

報告事項

- (1) 公益法人の自己規律について（公益認定等委員会）

5. 平成 25 年 9 月 27 日

協議事項

- (1) 「透析医療事故の定義と報告制度」に関する調査表について
（医療事故対策部会より）
- (2) 平成 25 年度透析に関わる調査研究費について（愛知県透析医会より）
- (3) 診療報酬改定要望について

報告事項

- (1) 公募研究助成申請状況
- (2) 研修セミナー（10 月 20 日）等スケジュール

6. 平成 25 年 10 月 29 日

協議事項

- (1) レセプト分析調査（中間報告）について
- (2) 診療報酬改定要望について
- (3) 監事就任要請について

報告事項

- (1) 委員会報告
 研修委員会
- (2) 平成 25 年度中間決算

7. 平成 25 年 11 月 22 日

協議事項

- (1) 研修セミナー DVD の貸出しについて
- (2) 各支部開催の研修会，講演会経費の補助について（研修委員会より）
- (3) 家庭透析時の穿刺と訪問看護（疑義照会）について

- 報告事項
- (1) 委員会報告
 - 広報委員会
 - 感染防止対策部会
 - (2) 平成 25 年度公募研究助成審査結果一覧

8. 平成 25 年 12 月 20 日

- 報告事項
- (1) 平成 25 年度レセプト分析調査最終報告

9. 平成 26 年 1 月 24 日

- 協議事項
- (1) 平成 26 年度事業計画（案）策定について

10. 平成 26 年 2 月 28 日

- 協議事項
- (1) 平成 26 年度事業計画（案）・予算（案）及び理事会について
 - (2) 任期満了（平成 26 年 5 月 18 日）に伴う役員の改選について
 - (3) 定款変更（役員の責任の免除・限定）について

- 報告事項
- (1) 委員会報告
 - 在宅血液透析部会
 - 広報委員会
 - (2) 平成 25 年度仮決算
 - (3) 2014 年度診療報酬改定—消費税の問題

11. 平成 26 年 3 月 14 日

- 協議事項
- (1) 理事会について
 - ・平成 26 年度事業計画（案）及び予算（案）
 - ・定款変更（案）ほか
 - (2) 通常総会資料について

第2 委員会

平成 25 年度委員会開催状況

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

委員会（部会）	開催年月日	備 考
1. 適正透析医療普及推進委員会 (1) 適正透析導入部会 (2) 維持透析療法部会 (3) 適正透析普及部会 (4) 医療廃棄物対策部会 (5) 在宅血液透析部会	平成 25 年 6 月 21 日 平成 26 年 3 月 13 日 平成 26 年 1 月 10 日	支部長会議
2. 適正医療経済・制度調査研究委員会	平成 25 年 6 月 21 日 平成 25 年 6 月 28 日	保険審査委員懇談会 レセプト分析調査検討会議
3. 透析医療経営検討委員会		
4. 透析医療に関するグランドデザイン 作成に向けた検討会	平成 25 年 9 月 6 日 平成 25 年 11 月 22 日	
5. 広報委員会	平成 25 年 6 月 14 日 平成 25 年 10 月 18 日 平成 26 年 2 月 14 日	
6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会		
7. 研修委員会	平成 25 年 5 月 19 日 平成 25 年 10 月 20 日	
8. 研究助成審査委員会	平成 25 年 10 月 29 日	
9. 災害時透析医療対策委員会	平成 25 年 6 月 23 日	災害時情報ネットワーク会議
10. 医療安全対策委員会 (1) 感染防止対策部会 (2) 医療事故対策部会	平成 25 年 11 月 19 日 平成 26 年 2 月 18 日 平成 25 年 8 月 16 日	

平成 25 年度委員会報告

1. 適正透析医療普及推進委員会

(1) 適正透析導入部会

愛知県透析医会の透析療法審査活動に透析導入時の調査研究費として 50 万円助成した。当該審査結果に基づく実態報告については、日本透析医会雑誌に掲載する。

(2) 適正透析普及部会

支部長会議を開催した。最近の当会の活動状況として(1)透析の高齢化・長期化による問題点と透析提供体制に関する将来予測、(2)わが国の透析医療の現況（①特定除外制度の廃止方針に対するアンケート調査結果報告、②在宅血液透析をめぐる問題とその対応）、レセプト集計からみた平成 24 年度診療報酬改定の影響について、各担当理事からの詳細な説明・報告に続き、関連事項の質疑応答を行った。

(3) 医療廃棄物対策部会

「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改定について、在宅医療の感染性廃棄物（在宅血液透析、CAPD における問題点）等について、問題点を整理し意見交換を行った。

(4) 在宅血液透析部会

在宅血液透析をめぐる諸問題、高齢者向け居住施設における血液透析の実施等について、検討および討議を行った。

2. 適正医療経済・制度調査研究委員会

1) 第 18 回透析保険審査委員懇談会を開催した。事前にアンケートを実施し検討事項（48 件）要望事項等（108 件）に基づき、基本診療料、医学管理等、検査、投薬・注射、処置、手術の診療行為別に討論を行った。詳細な報告については、日本透析医会雑誌（Vol. 28-No. 3）に掲載した。

2) 透析医療費の定点調査について、全国の病院及び診療所（214 施設）に協力をいただき、平成 25 年 6 月分外来透析レセプトの集計分析を実施した。調査結果は 26 年度の日本透析医会雑誌（Vol. 29-No. 1）に掲載する。

3. 透析医療経営検討委員会

平成 25 年 6 月に「透析医療機関経営・施設実態調査 2013」を実施（597 医療法人あて）した。

4. 透析医療に関するグランドデザイン作成に向けた検討会

透析医療機関の経営環境の分析と予測、透析提供体制の分析と予測、高齢化による社会的入院、送迎・介護保険との問題と将来予測、透析の質と QI の構築、情報公開等について検討を重ね、平成 25 年度中に主要なテーマについて報告書としてまとめることとした。

5. 広報委員会

日本透析医会雑誌発刊にかかる企画・編集等を討議し、Vol. 28-No. 1～No. 3 の 3 巻を発行した。

6. CKD（慢性腎臓病）対策委員会

1) 平成 25 年度臓器移植普及推進月間を主催し、臓器移植推進国民大会を後援した。

2) （公社）日本臓器移植ネットワーク運営事業に参画（年会費 510 万円）し、腎移植の普及推進に協力した。

7. 研修委員会

- 1) (公社) 日本透析医会研修セミナー (東京)「合併症対策と進歩」を開催, 221 名が参加した。
日 時:平成 25 年 5 月 19 日 (日)
午前 8 時 50 分～午後 4 時 40 分
場 所:コクヨホール
- 2) (公社) 日本透析医会研修セミナー (大阪)「透析患者の合併症に備える」を開催, 267 名が参加した。
日 時:平成 25 年 10 月 20 日 (日)
午前 9 時 00 分～午後 4 時 10 分
場 所:ホテルモントレ グラスミア大阪
- 3) 支部 (各都道府県透析医会等) が開催した研修会・講演会経費の助成を行った。

支部等名および研修会・講演会名	講演内容	開催日
〈三多摩腎疾患治療医会〉 第 65 回三多摩腎疾患治療医会研究 発表会	人間エラーは仕組みで防げるか	平成 25 年 6 月 9 日
〈青森県透析医会〉 第 37 回青森人工透析研究会	心疾患 (不整脈) における最新の治療方法 泌尿器科における最新の治療方法	平成 25 年 6 月 16 日
〈鹿児島県透析医会〉 第 27 回鹿児島県透析医会総会	腎不全の総合医療をめざして	平成 25 年 7 月 6 日
〈大阪透析医会〉 大阪透析医会講演会	個別化医療を目指す最先端医療の潮流と被災地復興 計画	平成 25 年 7 月 21 日
〈福岡県透析医会〉 第 52 回福岡市透析集談会	透析患者の行動変容 ～塩分・水分管理のために～	平成 25 年 8 月 8 日
〈長野県透析医会〉 第 61 回長野県透析研究会学術集会	透析医療における災害対策	平成 25 年 10 月 20 日
〈北海道透析医会・札幌市透析医会〉 合同研修会	健やかに老いる	平成 25 年 10 月 26 日
〈静岡県透析医会〉 第 41 回静岡県腎不全研究会	血液透析患者の運動療法	平成 25 年 10 月 27 日
〈福岡県透析医会〉 第 53 回福岡市透析集談会	透析患者における重症下肢虚血の診断と治療	平成 25 年 11 月 14 日
〈愛知県透析医会〉 平成 25 年度愛知県透析医会研修会	知っておくべき HIV 感染症の知識～HIV 感染患者 の透析を行うために～	平成 25 年 11 月 24 日
〈宮城県透析医会〉 第 42 回宮城県腎不全研究会	脳・心・腎血管病と高血圧・動脈硬化—家庭血圧の 臨床的意義—	平成 25 年 12 月 8 日
〈島根県透析医会〉 島根県透析医会冬季学術講演会	透析患者の糖尿病治療	平成 26 年 1 月 19 日
〈東京透析懇談会〉 第 42 回東京透析懇談会	カルシフィラキシスと透析患者における血管・弁膜 石灰化	平成 26 年 2 月 23 日
〈京都透析医会〉 第 34 回京都透析医会	腎臓リハビリテーションの実際と効果	平成 26 年 3 月 16 日

- 4) 平成 26 年度の研修セミナーについて, 平成 26 年 5 月 18 日 (日) 東京, 平成 26 年 10 月 19 日 (日) 札幌での開催を決定した。

8. 研究助成審査委員会

公募研究助成申請 31 件について厳正なる審査が行われ、以下のとおり 18 件（総額 23,660 千円）を採択した。

- | | | | |
|---|---|-------|-------------|
| (1) 尿毒症物質による認知機能障害の病態解明に関する研究 | 福島県立医科大学付属病院血液浄化療法部 | 渡邊 公雄 | 1,500,000 円 |
| (2) 腹膜透析におけるリンパ管新生の意義の検討 | 名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科・腎不全総合治療学寄附講座 | 伊藤 恭彦 | 1,500,000 円 |
| (3) 血液透析患者に特異的な動脈硬化進展機序はあるか？—単球スカベンジャー受容体発現の異常— | 東京都立駒込病院／東京女子医科大学 腎臓内科 | 安藤 稔 | 1,400,000 円 |
| (4) 慢性腎臓病における NF- κ B を介した血管石灰化機構の解明 | 慶応義塾大学医学部血液浄化・透析センター | 吉田 理 | 1,500,000 円 |
| (5) 慢性腎臓病患者における炎症・抗炎症サイトカイン遺伝子および長寿関連遺伝子のメチル化と合併症、予後との関係 | 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 | 本田 浩一 | 2,500,000 円 |
| (6) マウス腹膜線維症モデルにおけるコンドロイチン硫酸の線維化抑制効果 | 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 | 阿部 伸一 | 900,000 円 |
| (7) ミトコンドリア障害・保護をターゲットにした腎不全の新規治療法の開発 | 高知大学 教育研究部医療学系臨床医学部門内分泌代謝・腎臓内科学講座 | 寺田 典生 | 1,500,000 円 |
| (8) 血液透析患者の健康志向性と療養生活を支える要因の検討 | 香川大学大学院医学系研究科看護学専攻 | 山西 育子 | 200,000 円 |
| (9) 透析導入期の心機能評価における心筋核医学検査の有用性 | 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 | 溝渕 正英 | 1,500,000 円 |
| (10) 腎動脈塞栓術が常染色体優性多発性嚢胞腎患者の生命予後に及ぼす影響についての研究 | 虎の門病院分院 腎センター内科 | 諏訪部達也 | 1,260,000 円 |
| (11) 慢性血液透析患者における Helicobacter pylori 除菌療法の PK/PD を考慮した最適化の検討 | 浜松医科大学（第一内科） | 佐原 秀 | 1,500,000 円 |
| (12) 透析患者特異的な病態に関する尿毒素の同定 | 東北大学東北メディカルメガバンク機構地域医療支援部門／東北大学病院腎高血圧内分泌科 | 秋山 泰利 | 1,500,000 円 |
| (13) 血液透析患者の内シャント狭窄予防における超赤外線照射治療の有用性 | 順天堂大学医学部 腎臓内科 | 井尾 浩章 | 1,000,000 円 |
| (14) 透析患者における遺伝子のコピー数多型と悪性腫瘍発症との関連調査 | 東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 | 中島 章雄 | 2,000,000 円 |
| (15) Personal Health Record システムを用いた災害時透析情報伝達方法に関する研究 | 京都大学大学院医学研究科腎臓内科学 | 西岡 敬祐 | 1,300,000 円 |
| (16) 腹膜透析における腹膜劣化防止を目指した細胞サイトカイン療法の開発 | 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 | 喜多村真治 | 1,600,000 円 |
| (17) 血液透析患者の運動習慣獲得のためのセルフコントロールに関する研究 | 滋慶医療科学大学院大学医療管理学研究科 | 飛田伊都子 | 300,000 円 |
| (18) シャントトラブルに対する EMS（電気刺激療法）の効果に関する研究 | 医療法人青仁会池田病院 透析センター | 上谷 耕平 | 700,000 円 |

9. 災害時透析医療対策委員会

1) 第14回災害時情報ネットワーク会議

6月23日に各都道府県災害情報ネットワーク関係者など計68名の参加を得て開催された。特別講演として、「東日本大震災学術調査」(災害時透析医療対策委員会委員長/日本透析医学会危機管理委員会副委員長 山川智之先生)、「東日本大震災学術調査から～提言(案)～」(災害時透析医療対策委員会副委員長 赤塚東司雄先生)の特別講演が行われた後、各支部からの活動報告(書面報告)、情報ネットワーク本部から平成24年度の活動報告と平成25年度活動計画についての説明等が行われた。会議の詳細は、日本透析医会雑誌(Vol. 28-No. 3)に掲載した。

2) 災害時活動

災害時情報活動等は以下の通り

- ・淡路島付近で震度5強(M6.3)の地震(平成25年4月13日5時33分)
- ・三宅島近海で震度5強(M6.2)の地震(平成25年4月17日17時57分)
- ・福島県沖で震度5強(M6.0)の地震(平成25年5月18日14時47分)
- ・山形県および福島県で梅雨前線性の豪雨(平成25年7月17日～18日, 7月22日)
- ・梅雨前線および大気不安定による西日本から北日本の広い範囲で大雨(平成25年7月22日～8月1日)
- ・山口県と島根県で豪雨(平成25年7月28日)
- ・宮城県沖で震度5強(M6.0)の地震(平成25年8月4日12時28分)
- ・大気不安定による秋田県, 岩手県を中心に記録的な大雨(平成25年8月9日～8月10日)
- ・台風第18号による四国地方から北海道の広い範囲で大雨(平成25年9月15日～9月16日)
- ・福島県浜通りで震度5強(M5.9)の地震(平成25年9月20日2時25分)
- ・台風第26号による西日本から北日本の広い範囲で暴風・大雨(平成25年10月14日～10月16日)
- ・東京都大島町で土砂災害(平成25年10月16日)
- ・発達した低気圧による関東甲信, 東北, 北海道で大雪・暴風雪(平成26年2月14日～2月19日)

3) 第14回災害時情報伝達訓練

8月31日に訓練を実施した。41都道府県42地域で1,299施設, および中国5県と石川県が独自に行った訓練参加施設数265施設を加えて, 計1,564施設が参加し, 参加施設数は2000年の訓練開始以来, 過去最高となった。

北海道 = 3	青森 = 16	宮城 = 47	福島 = 44	茨城 = 23	栃木 = 38
埼玉 = 2	千葉 = 114	東京 = 86	神奈川 = 41	新潟 = 22	富山 = 39
石川 = 25	山梨 = 24	長野 = 71	岐阜 = 1	静岡 = 25	愛知 = 132
三重 = 25	滋賀 = 1	京都 = 26	大阪 = 67	兵庫 = 32	奈良 = 1
和歌山 = 3	鳥取 = 20	島根 = 30	岡山 = 65	広島 = 81	山口 = 43
徳島 = 1	香川 = 18	高知 = 22	福岡 = 104	佐賀 = 1	長崎 = 16
熊本 = 90	大分 = 34	宮崎 = 62	鹿児島 = 36	沖縄 = 28	

また, イリジウム通話訓練では, 本部へ5施設, 副本部へ4施設が参加し, 概ね電波状態は安定していた。また, 日本透析医会配布分以外の衛星携帯電話(福島:3件, 山梨:3件, 鹿児島:1件)が訓練に参加し, (おそらく新機種の)通話状態が配布分より良好であることがわかった。近年衛星携帯電話の普及率も上がっていると思われるので, 次年度からは配布分以外の施設を通話訓練に加えることも含めて, 方法を検討していくこととする。

4) 情報システム・メーリングリスト保守管理

- ・「透析医療災害対策メーリングリスト」taisaku_ml 登録アドレス数 131
- ・「災害時情報ネットワークメーリングリスト」joho_ml 登録アドレス数 888

10. 感染防止対策部会

「透析医療における標準的な透析操作と院内感染予防に関するマニュアル（三訂版）」が発行より5年経過していることから改訂することとした。部会には、日本透析医学会、日本臨床工学技士会、腎不全看護学会から推薦された方も委員として参画し、検討の結果、改訂に当たってエビデンスを加えて行うこととし、平成26年度までに「ガイドライン」を発行することとし検討作業を行った。

11. 医療事故対策部会

平成12年度の厚生科学研究において「透析医療事故の実態」についての全国アンケート調査及び「透析医療事故防止のための標準的透析操作マニュアル」の作成配布から10年以上経過したため、再度調査を行うこととした。12月に日本透析医会施設会員（958施設）、日本透析医学会施設会員（3,055施設）あて両会会長連名にて「透析医療事故の定義と報告制度」と「透析医療事故の実態」に関する全国調査を行った。

平成 25 年度財務諸表

1. 貸借対照表 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現預金			
現金	33,650	19,350	14,300
普通預金	9,212,267	22,838,891	△ 13,626,624
定期預金	20,002,870	10,003,725	9,999,145
現預金合計	29,248,787	32,861,966	△ 3,613,179
(2) その他流動資産			
その他流動資産合計	0	0	0
流動資産合計	29,248,787	32,861,966	△ 3,613,179
2. 固定資産			
(1) 基金			
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	202,004,889	0
基金合計	202,004,889	202,004,889	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	563,372	563,372	0
淡路建物ビル保証金	6,300,000	6,300,000	0
警備保証金	50,000	50,000	0
退職給付引当預金	3,008,880	2,945,575	63,305
その他固定資産合計	9,922,252	9,858,947	63,305
固定資産合計	211,927,141	211,863,836	63,305
資産合計	241,175,928	244,725,802	△ 3,549,874
II 負債の部			
1. 流動負債			
会費預り金	60,000	180,000	△ 120,000
所得税預り金	250,354	255,460	△ 5,106
健康保険預り金	61,717	63,240	△ 1,523
厚生年金預り金	98,440	204,546	△ 106,106
流動負債合計	470,511	703,246	△ 232,735
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,008,880	2,945,575	63,305
固定負債合計	3,008,880	2,945,575	63,305
負債合計	3,479,391	3,648,821	△ 169,430
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	237,696,537	241,076,981	△ 3,380,444
正味財産合計	237,696,537	241,076,981	△ 3,380,444
負債及び正味財産合計	241,175,928	244,725,802	△ 3,549,874

2. 正味財産増減計算書（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 研究助成事業基金運用益 研究助成事業基金受取利息	50,501	60,767	△ 10,266
② 受取入会金 受取入会金	60,000	270,000	△ 210,000
③ 受取会費 受取会費	87,430,000	88,600,000	△ 1,170,000
④ 受取寄付金等 受取寄付金 受取参加費	22,800,000 488,000	25,900,000 380,000	△ 3,100,000 108,000
⑤ 雑収益 受取利息 雑収入	11,679 332,758	10,639 1,083,755	1,040 △ 750,997
経常収益計	111,172,938	116,305,161	△ 5,132,223
(2) 経常費用			
事業費			
調査・研究, 普及, 教育研修事業	54,508,160	60,736,153	△ 6,227,993
給与手当	8,571,386	8,559,814	11,572
退職給付費用	189,349	250,134	△ 60,785
福利厚生費	41,147	40,588	559
会議費	875,144	566,615	308,529
旅費交通費	4,881,408	4,772,400	109,008
通信運搬費	1,328,078	1,772,978	△ 444,900
事務消耗品費	1,158,770	1,022,370	136,400
印刷製本費	9,435,943	14,393,121	△ 4,957,178
水道光熱費	124,433	124,820	△ 387
家賃	1,999,626	1,866,461	133,165
原稿料	2,389,886	2,220,832	169,054
諸会費	103,816	102,978	838
警備等委託費	394,913	387,072	7,841
ホームページ管理費	316,469	331,380	△ 14,911
レセプト調査	6,760,200	8,801,680	△ 2,041,480
日本臓器移植ネットワーク助成費	5,100,000	5,100,000	0
調査・研究費	500,000	1,600,000	△ 1,100,000
セミナー開催費	8,574,521	7,157,298	1,417,223
研修費	1,400,000	1,400,000	0
雑費	363,071	265,612	97,459
研究助成事業	30,647,467	31,049,254	△ 401,787
給与手当	4,285,692	4,279,906	5,786
退職給付費用	94,674	125,067	△ 30,393
福利厚生費	20,573	20,294	279
会議費	49,125	52,500	△ 3,375
旅費交通費	19,100	340,480	△ 321,380
通信運搬費	104,684	118,062	△ 13,378
事務消耗品費	554,385	511,185	43,200
印刷製本費	174,006	277,599	△ 103,593

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
水道光熱費	62,217	62,410	△ 193
家賃	999,813	933,230	66,583
謝金	100,000	130,000	△ 30,000
諸会費	51,908	51,489	419
警備等委託費	197,457	193,536	3,921
ホームページ管理費	158,235	165,690	△ 7,455
研究助成費	23,660,000	23,700,000	△ 40,000
雑費	115,598	87,806	27,792
安全対策事業	9,512,794	9,474,645	38,149
給与手当	2,142,847	2,139,954	2,893
退職給付費用	47,337	62,533	△ 15,196
福利厚生費	10,287	10,147	140
会議費	295,812	56,000	239,812
旅費交通費	446,920	167,220	279,700
通信運搬費	785,942	775,103	10,839
事務消耗品費	227,193	425,891	△ 198,698
印刷製本費	886,420	85,459	800,961
水道光熱費	31,108	31,204	△ 96
家賃	499,907	466,615	33,292
諸会費	25,954	25,744	210
警備等委託費	98,729	96,768	1,961
ホームページ管理費	79,118	82,845	△ 3,727
システム管理費	3,105,421	4,157,259	△ 1,051,838
災害発生時対応諸経費	730,000	800,000	△ 70,000
雑費	99,799	91,903	7,896
事業費計	94,668,421	101,260,052	△ 6,591,631
管理費			
給与手当	6,428,539	6,419,860	8,679
退職給付費用	142,012	187,601	△ 45,589
福利厚生費	30,860	30,441	419
会議費	105,280	81,200	24,080
常任理事会費	3,720,250	3,736,142	△ 15,892
総会・理事会費	2,320,267	2,492,992	△ 172,725
旅費交通費	1,849,450	1,574,540	274,910
通信運搬費	134,347	157,294	△ 22,947
事務消耗品費	831,578	766,778	64,800
印刷製本費	100,989	256,379	△ 155,390
水道光熱費	93,325	93,615	△ 290
家賃	1,499,720	1,399,846	99,874
会計委託費	1,200,000	1,200,000	0
警備等委託費	296,186	290,304	5,882
報酬	600,000	600,000	0
租税公課	1,600	3,300	△ 1,700
慶弔費	41,946	0	41,946
諸会費	77,862	77,234	628
ホームページ管理費	237,353	248,535	△ 11,182
雑費	173,397	131,709	41,688
管理費計	19,884,961	19,747,770	137,191
経常費用計	114,553,382	121,007,822	△ 6,454,440
当期経常増減額	△ 3,380,444	△ 4,702,661	1,322,217

(単位:円)

勘定科目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用			
経常外収益計			
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	△ 3,380,444	△ 4,702,661	1,322,217
一般正味財産期首残高	241,076,981	245,779,642	△ 4,702,661
一般正味財産期末残高	237,696,537	241,076,981	△ 3,380,444
Ⅱ 正味財産期末残高	237,696,537	241,076,981	△ 3,380,444

3. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上することとしている。

2) リース取り引きの処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(2) 固定資産の増減額及びその残高

基金及びその他の固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889	0		202,004,889
小 計	202,004,889	0		202,004,889
その他固定資産				
電話加入権	563,372	0		563,372
淡路建物ビル保証金	6,300,000	0		6,300,000
警備保証金	50,000	0		50,000
退職給付引当金	2,945,575	473,372	410,067	3,008,880
小 計	9,858,947	473,372	410,067	9,922,252
合 計	211,863,836	473,372	410,067	211,927,141

(3) 固定資産の財源等の内訳

基金及びその他の固定資産の財源などの内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基金				
研究助成事業基金定期預金	202,004,889			
小 計	202,004,889			
その他固定資産				
電話加入権	563,372			
淡路建物ビル保証金	6,300,000			
警備保証金	50,000			
退職給付引当預金	3,008,880		(473,372)	(473,372)
小 計	9,922,252		(473,372)	(473,372)
合 計	211,927,141		(473,372)	(473,372)

(4) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
尿毒症物質による認知機能障害の病態解明に関する研究	渡邊 公雄		1,500,000	1,500,000	0	
腹膜透析におけるリンパ管新生の意義の検討	伊藤 恭彦		1,500,000	1,500,000	0	
血液透析患者に特異的な動脈硬化進展機序はあるか？—単球スカベンジャー受容体発現の異常—	安藤 稔		1,400,000	1,400,000	0	
慢性腎臓病における NF- κ B を介した血管石灰化機構の解明	吉田 理		1,500,000	1,500,000	0	
慢性腎臓病患者における炎症・抗炎症サイトカイン遺伝子および長寿関連遺伝子のメチル化と合併症、予後との関係	本田 浩一		2,500,000	2,500,000	0	
マウス腹膜線維症モデルにおけるコンドロイチン硫酸の線維化抑制効果	阿部 伸一		900,000	900,000	0	
ミトコンドリア障害・保護をターゲットにした腎不全の新規治療法の開発	寺田 典生		1,500,000	1,500,000	0	
血液透析患者の健康志向性と療養生活を支える要因の検討	山西 育子		200,000	200,000	0	
透析導入期の心機能評価における心筋核医学検査の有用性	溝渕 正英		1,500,000	1,500,000	0	
腎動脈塞栓術が常染色体優性多発性嚢胞腎患者の生命予後に及ぼす影響についての研究	諏訪部達也		1,260,000	1,260,000	0	
慢性血液透析患者における Helicobacter pylori 除菌療法の PK/PD を考慮した最適化の検討	佐原 秀		1,500,000	1,500,000	0	
透析患者特異的な病態に関する尿毒素の同定	秋山 泰利		1,500,000	1,500,000	0	
血液透析患者の内シャント狭窄予防における超赤外線照射治療の有用性	井尾 浩章		1,000,000	1,000,000	0	
透析患者における遺伝子のコピー数多型と悪性腫瘍発症との関連調査	中島 章雄		2,000,000	2,000,000	0	
Personal Health Record システムを用いた災害時透析情報伝達方法に関する研究	西岡 敬祐		1,300,000	1,300,000	0	
腹膜透析における腹膜劣化防止を目指した細胞サイトカイン療法の開発	喜多村真治		1,600,000	1,600,000	0	
血液透析患者の運動習慣獲得のためのセルフコントロールに関する研究	飛田伊都子		300,000	300,000	0	
シャントトラブルに対する EMS (電気刺激療法) の効果に関する研究	上谷 耕平		700,000	700,000	0	
合 計			23,660,000	23,660,000	0	

4. 財産目録（平成 26 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産) 現預金	現金	手元保管	運用資金として	33,650
	普通預金			9,212,267
	ゆうちょ銀行		〃	1,025,799
	りそな銀行		〃	671,509
	みずほ銀行		〃	368,076
	三井住友銀行		〃	146,347
	三菱東京 UFJ 銀行		〃	7,000,536
	定期預金			20,002,870
	三菱東京 UFJ 銀行		〃	20,002,870
				現預金合計
			流動資産合計	29,248,787
(固定資産) 基金	研究助成事業基金 定期預金	三菱東京 UFJ 銀行	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業に使用している	202,004,889
			基金合計	202,004,889
その他固定資産	電話加入権	東京都千代田区神田須田町 1-15-2	共用財産であり、うち 70% は公益事業の用に供し、30% は管理運営の用に供している	563,372
	淡路建物ビル保証金	〃	〃	6,300,000
	警備保証金	〃	〃	50,000
	退職給付引当預金	三菱東京 UFJ 銀行	職員退職金の支払財源として積み立てている	3,008,880
				その他固定資産合計
			固定資産合計	211,927,141
			資産合計	241,175,928
(流動負債)	会費預り金	ゆうちょ銀行	重複会費の預り分	60,000
	所得税預り金	三菱東京 UFJ 銀行	源泉所得税の未払い分	250,354
	健康保険預り金	三菱東京 UFJ 銀行	健康保険の未払い分	61,717
	厚生年金預り金	三菱東京 UFJ 銀行	厚生年金の未払い分	98,440
			流動負債合計	470,511
(固定負債)	退職給付引当金	三菱東京 UFJ 銀行	職員に対する退職金の支払に備えたもの	3,008,880
			固定負債合計	3,008,880
			負債合計	3,479,391
			正味財産	237,696,537

第2号議案

監事2名選任の件

岩崎 文昭	鳥飼総合法律事務所 弁護士・公認会計士
渡邊 有三	春日井市民病院 院長

第3号議案

定款の一部変更（案）

1. 変更の理由

外部理事・監事に適切な人材の招聘を容易にし、期待される役割を十分に発揮できるようにするため、以下の定款の規定を新設するものです。

なお、定款第27条の新設に関しては、監事の同意を得ております。

2. 変更の内容

(下線は変更部分)

現行定款	定款変更案
<p>第5章 役員</p> <p>第21条 ） 第26条</p> <p>(条文省略)</p> <p>(新 設)</p> <p>第27条 ） 第52条</p> <p>(条文省略)</p>	<p>第5章 役員</p> <p>第21条 ） 第26条</p> <p>(責任の免除又は限定)</p> <p>第27条 本会は、役員的一般社団・財団法人 <u>法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。</u></p> <p>2 本会は、外部役員との間で、<u>前項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には賠償責任を限定する契約を、締結することができる。ただし、その契約に基づく賠償責任の限度額は、金10万円以上で予め定めた額と法令の定める最低責任限度額とのいずれか高い額とする。</u></p> <p>第28条 ） 第53条</p> <p>(現行どおり)</p>

平成 26 年度 通常総会報告

山崎会長挨拶

ご多忙のところ、総会にご出席いただきましてありがとうございます。先立ちましてご挨拶ということですが、今回のセミナーの冒頭でもご挨拶させていただきました。私が、今日、会員の皆様に報告しなければいけないような内容に関しましては、先ほど、山川先生と太田先生のほうから随分明確に、当医会がやらなければならない問題について提示していただきましたので、それ以上のことを特に言うつもりはありません。ただ、その問題に関しまして、今後、日本透析医会は、先ほど来、言っておりますように、例えば政策提言みたいなものをやらなければいけないと思います。そういうときのために、きちっとしたデータを持たなければいけないと思っております。

1つは、いったい今回の消費税改定によりどれほどの経費が増加して、医療機関に大きな影響を与えたかという部分を、比較的早く調査したいと考えております。ぜひこれにご協力いただくということと、それから、2つ目は、特定除外が外されたことにより、この10月には該当する医療機関は何らかの選択をしなければならないということです。

これも個人的に、我々の病院でいいますと、102床の病床ですが、約20人の長期の透析の患者さんが入っております。その長期入院しています透析患者さんを含めて在院日数を計算しますと、21日を超してしまいます。ところが、今まだ続いているわけですので、20人の特定除外を計算に入れますと、18日を切ることができます。いろいろな事情がありまして、今までは7対1で、実際に特定除外の恩恵を受けていました。しかしながら、7月まで頑張って、今までの20人の長期の透析患者さんを抱えながら、いったいどれぐらいの在院日数にいくことができるのだろうかというのは、医局を挙げて入退院数を増やそうとしていますが、どう考えましても無理かなと思っております。

何を選択するかといいますと、在院日数を大事にして、7対1を維持していくために、療養型病床群の点数を取るの、もしかすると一番患者さんも残っていただいてやっていくことができる仕掛けかなと思っております。ただ、これを選択いたしますと、年間で約4,000万円の減益になります。それを覚悟しながら果たしてやっていけるほどの体力がうちに残っているかという問題もあります。この問題に関しましても、実際にどうされるか。先ほどちょっとお話を聞きましたら、某県の大きな病院で、もう透析患者さんを外に出し始めているようです。やはりこの特定除外の話というのは随分大きな問題になりました。

実際にこの問題は入院を抱えている医療機関の問題だけではなくて、診療所が入院をお願いするときに、長くなりそうな透析患者さんは受け入れないという可能性が出てくる。あるいは、受け入れても、3カ月までです。その先は、先生、ちゃんと責任を持って、どこかに行けるようなところを保証していただかないと、受け入れることはできませんよということが起こるかもしれないというので、本当に透析全体の問題になるのかなと考えております。

これもちょうど切り替わるころ、選択すべきところをめぐって、つまり本年の10月ぐらいをめぐって調査をさせていただこうかなと思っております。

最後に、これは山川先生の最後にありましたように、透析といいますのは、いろいろところで語られるのは、お金がかかっているということしか出てきません。しかし、何をおっしゃいます、亡くなっていた人がなんと40年も生きる医療ですよというところは、やはり堂々と言わなければいけないと思います。そのために何が必要かといいますと、みずから成績を世の中に示さなければいけないでしょう。職能団体として、自主評価した透析医療機関の機能や成績を、ぜひご自分のところのホームページに載せていただきたい。書式は日本透析医会のホー

ムページに入っていただきますと、それを取り出すことができます。全部を埋めてくださいと言うつもりもありませんので、不都合なところは抜いてもらって構いません。それに基づいて、ぜひそれぞれの医療機関がご自身のホームページで自主的にそういうものをやっていただきますと、たぶん、職能団体、医療の団体として初めて、団体を挙げてそういう機能評価をしたということで、大きな評価を受けるかなと思っています。

実際のところ、この4月から始まっておりますけれども、20余の医療機関で、ご自分のところのホームページに機能を掲示されたという報告を受けております。まだまだ20というのは少ない数ですけれども、そう簡単に広がっていくとは思いませんが、ぜひご協力いただけたらと思います。

調査のお願いであるとか、そういうことになりましたが、ぜひご協力をいただきたいと要望しまして、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

議長選出

鈴木正司 副会長を選出

議事録署名人

隈 博政 理事

戸澤修平 理事を選任

議 事

第1号議案 平成25年度事業報告及び財務諸表の承認を求める件

常務理事山川智之氏から総会資料に基づき事業報告について1.会議 2.委員会 3.会務報告の順に説明があり、併せて専務理事杉崎弘章氏から財務諸表について詳細な説明が行われた。引き続き仮監事渡邊有三氏から平成25年度の業務及び会計について監査報告されたのち、議長による採決が行われ満場一致で承認された。

第2号議案 監事2名選任の件

会長山崎親雄氏から今監事逝去に伴い東京地方裁判所に仮監事選任申立ての経緯を説明したのち、総会資料に基づき岩崎文昭氏、現仮監事渡邊有三氏の経歴を説明し、監事に選任していただきたい旨の提案があり、議長による採決が行われ満場一致で選任された。

第3号議案 定款の一部変更の承認を求める件

常務理事太田圭洋氏から総会資料に基づき当会の定款に外部役員の責任免除規定である第27条を新設し、現行定款第27条以下を1条ずつ繰り下げる定款変更案の説明があり、議長による採決が行われ満場一致で承認された。